

日米投信概況

米国でビットコインETF人気止まらない！ 米国ではインド株ファンドが純流出だが、日本では(世界レベルでも)純流入回復

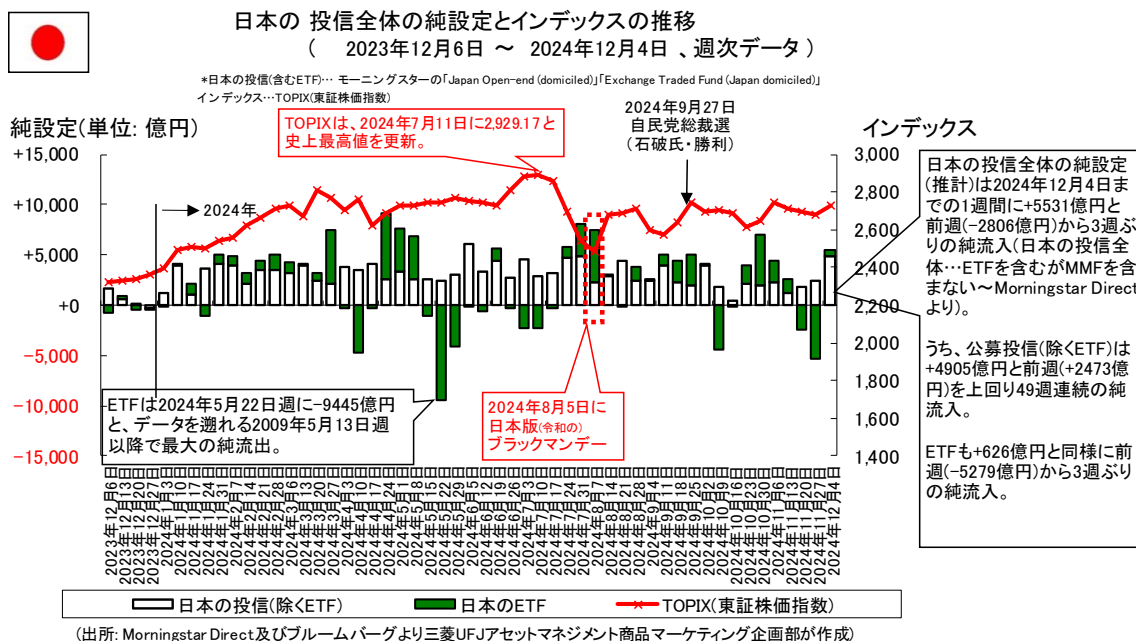
三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp) 窪田真美 (mami-kubota@am.mufg.jp)

- 日本でインド株ファンドは3週ぶり純流入、世界レベルでもインド株投資が純流入回復.....p.1
- 米国でビットコインETF人気止まらない！ インド株ファンドが(ハイテク株も)純流出.....p.3

●日本でインド株ファンドは3週ぶり純流入、世界レベルでもインド株投資が純流入回復

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年12月4日(水)までの1週間に+5531億円と3週ぶりの純流入

(日本の投信全体...ETFを含むがMMFを含まない~Morningstar Directより)。 公募投信(除くETF)は3週連続で純流入が増加し、最新12月4日週は+4905億円と7月31日週(+4909億円)以来約4か月ぶりの大きな純流入となった(新NISAが始まった2024年1月来49週連続純流入)。 ETFも+626億円と3週ぶりの純流入となった(-11月27日週-5279億円-11月20日週-2484億円)。



公募投信(除くETF)の最新12月4日週の純設定額+4905億円について分類別に見る。 純流入1~5位は米国株、グローバル株、グローバル株-日本を除く、コンサバティブ・アセットアロケーション、モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション。 米国株は+1933億円と公募投信(除くETF)全体(+4905億円)の約4割を占める純流入で、直近4週合計でも+6000億円と好調な純流入が続いている。 一方、純流出最大は日本株大型グロースで、個別に見ると、日経平均株価(日経225)連動インデックスファンドが大きい。 なお、11月20日週に-72億円と15週ぶり純流出で3年7か月ぶりの大きな純流出となったインド株は翌11月27日週も-57億円と純流出だったが、最新12月4日週は+31億円と3週ぶりに純流入

(2024年7月29日付投信調査レポートNo.419「インドがキャピタルゲイン税の引き上げ！ インド株に投資するファンドの総経費率に注意！ 米国で小型グロース株が純流入」~

<https://www.am.mufg.jp/report/investor/2024/12/09/429.html>、2024年9月17日付投信調査レポートNo.423「インド株ファンドが日本でも米国でも世界的に流入減速！ ~世界のインド株式ファンドの国籍別純資産・純設定推移~」

http://www.ammf.co.jp/report/investigate/report_240917.pdf)o

日本の投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順) 2024-12-04現在
***ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

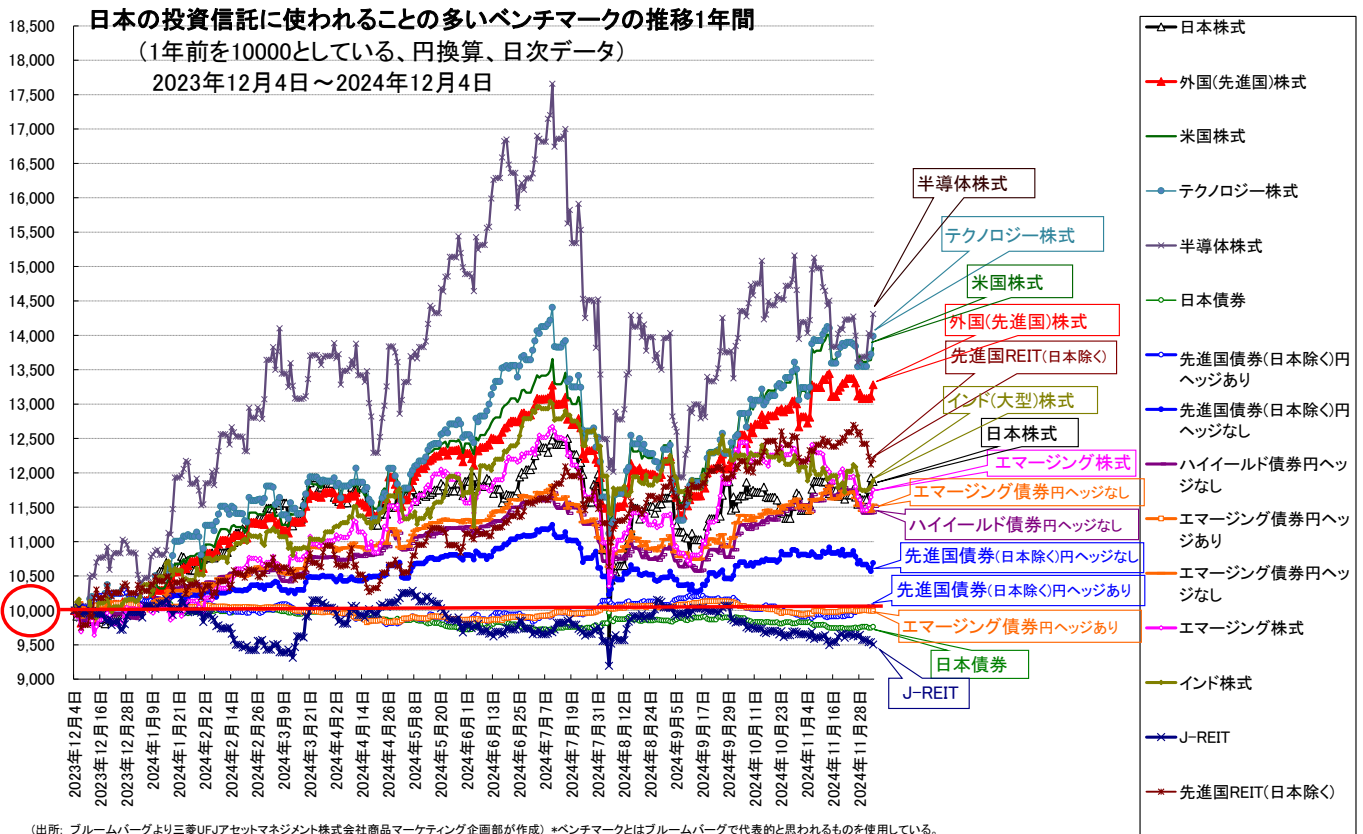
順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
上位 10 分類 ↑	1 US Equity	+193,259	+128,224	+598,754	22,651,895	米国株
	2 World Equity	+120,383	+75,391	+359,760	18,375,641	グローバル株
	3 World ex-Japan Equity	+78,811	+30,497	+158,765	12,254,964	グローバル株-日本を除く
	4 Conservative Allocation	+39,077	+865	+41,036	2,221,405	コンサバティブ・アセットアロケーション
	5 Moderately Aggressive Allocation	+25,416	+9,890	+46,125	4,585,730	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
	6 Moderately Conservative Allocation	+17,532	-499	+14,684	2,532,308	モデレート・コンサバティブ・アセットアロケーション
	7 Moderate Allocation	+16,797	+3,776	+25,467	3,558,559	モデレート・アセットアロケーション
	8 World ex-Japan Bond	+11,827	+2,891	+19,874	3,142,648	グローバル債-日本を除く
	9 Commodity	+8,909	+10,593	+22,618	1,004,709	商品
	10 Japan Large-Cap Blend Equity	+6,896	+7,578	+5,681	4,881,710	日本株大型ブレンド
下位 10 分類 ↓	18 India Equity	+3,125	-5,683	-7,945	3,032,762	インド株
	77 Other Bond	-2,536	-1,947	-9,675	599,470	その他債
	78 World Bond - JPY Hedged	-2,735	-2,407	-7,039	1,802,001	グローバル債-円ヘッジ
	79 Other Equity	-3,005	-4,195	-18,418	1,354,689	その他株
	80 Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-3,707	-4,577	-16,775	1,813,263	日本中小型グロース株
	81 Risk Control Allocation	-3,919	-5,027	-15,344	1,201,370	リスク・コントロール・アセットアロケーション
	82 World ex-Japan Bond - JPY Hedged	-4,561	-3,405	-12,804	1,290,561	グローバル債-日本を除く-円ヘッジ
	83 Japan REIT	-5,315	-4,494	-21,338	2,033,240	日本REIT
	84 Japan Small/Mid-Cap Value Equity	-6,222	-695	-13,020	1,221,309	日本中小型バリュー株
	85 Trading - Leveraged/Inverse	-14,541	+7,869	-14,560	701,437	トレーディング-レバレッジド/インバース
86 Japan Large-Cap Growth Equity	-25,521	+21,702	-10,865	6,295,198	日本株大型グロース	
全86分類の合計		+490,462	+247,317	+1,042,609	136,989,280	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	+2.86	-1.22	+0.95		
	S&P500	+1.49	+1.41	+2.80		
	MSCI ワールド	+1.71	+1.46	+2.76		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)。

世界レベルでも2024年12月に入り、インド株(ファンド)への流入が回復している。インド国立証券保管機関/National Securities Depository Ltd/NSDLによると、「**外国ポートフォリオ投資家/Foreign Portfolio Investment/FPI(ファンドが多い~後述)**」の**インド株式市場への純流出入額は2024年10月に-9402億ルピー/約1兆7300億円の純流出で、NSDLが公開する2002年1月以降で最大の月間純流出額となり、2024年11月は-2161億ルピー/約3834億円の純流出、2024年12月(6日までは+2445億ルピー/約4329億円の純流入、2024年1月~12月(6日まで)で+9435億ルピー/約1兆6706億円の純流入である**(NSDL「FPI Investments」~ <http://www.fpi.ndl.co.in/web/Reports/ReportsListing.aspx> →FPI Investment Details(Calendar Year)→「INR Crores」(1=1000万))

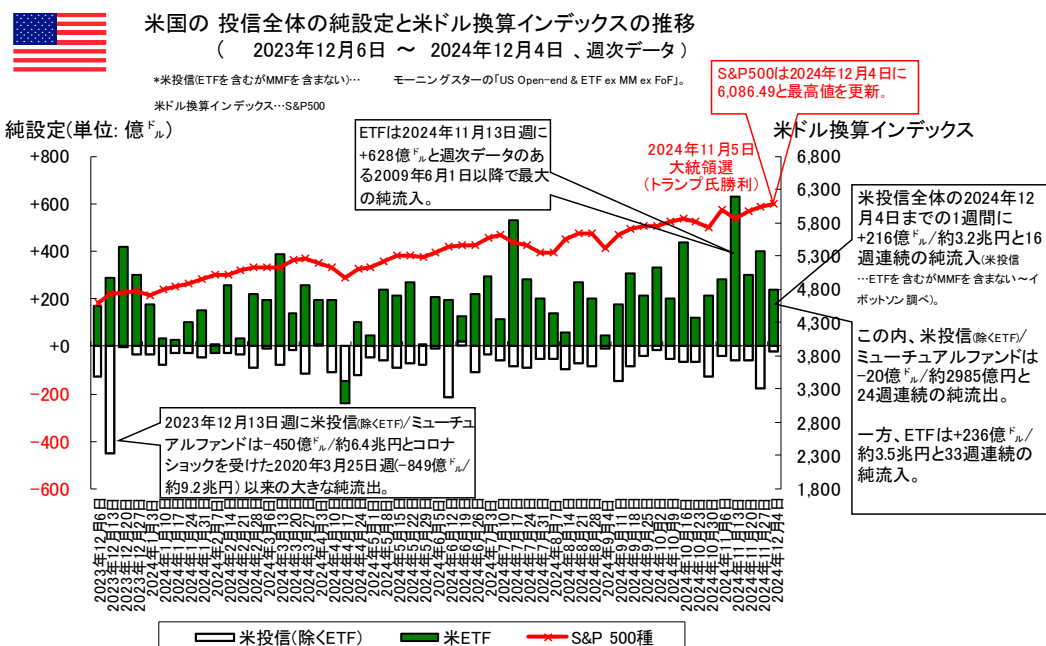
2024年11月20日にインドの複合企業アダニ・グループ/Adani Groupのゴータム・アダニ/Gautam Adani会長が数十億ドル規模の贈収賄・詐欺計画に関与した疑いで米検察当局に起訴された。アダニ会長および他の被告7人は20年間で20億ドルの利益が見込まれる契約の獲得とインド最大の太陽光発電プロジェクトの開発の為にインド政府関係者に約2億6500万ドル/約400億円の賄賂を支払う事に同意したとい(2024年11月20日付Reuters「Billionaire Gautam Adani of India's Adani Group charged in US with bribery, fraud」~ <https://www.reuters.com/legal/chair-india-adani-group-indicted-united-states-2024-11-20/>)。これに対してアダニ会長は、根拠がないと否定し、あらゆる法的手段を用いて反論すると表明している(2024年12月2日付ライター「印アダニ会長が巨額贈賄事件で反論、『世界最高水準で法厳守』」~ <https://jp.reuters.com/world/us/2024/12/02/india-adani-accused-bribery-2024-12-02/>)。今回の起訴を受けて、11月21日にはアダニ・グループ傘下の再生可能エネルギー会社アダニ・グリーン・エナジーの株価は前日比-18.9%と急落した。ただ、その後、11月27日に+10.0%、11月28日に+10.0%、11月29日に+21.8%と急反発している。



●米国でビットコインETF人気止まらない！ インド株ファンドが(ハイテク株も)純流出

米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年12月4日までの1週間に+216億^{ドル}/約3.2兆円と16週連続純流入
(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。うち、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-20億^{ドル}/約2985億円と24週連続の純流出。一方、**ETFは+236億^{ドル}/約3.5兆円と33週連続の純流入**(継続的なミューチュアルファンドの純流出とETFの純流入にはミ

ューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ http://www.asmf.jp/ir/review/invest/colum_31127.pdf)



NYダウは2024年12月4日に45,014.04 米ドルと最高値を更新。2024年8月5日の直近安値(38,703.27米ドル)から+16.3%上。S&P500も2024年12月6日に6,090.27と最高値を更新。2024年8月5日の直近安値(5,186.33)から+17.4%上。

その中、2024年12月4日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。米国株は+103億ドルと6週連続の純流入。一方、セクター株は-10億ドルと5週ぶりの純流出、外国株は-10億ドルと3週連続の純流出も鈍化傾向。債券は+109億ドルと27週連続の純流入。オルタナティブは+23億ドルと13週連続の純流入、コモディティは-0.4億ドルと3週ぶりの純流出。

投資対象をより細かく分類別に見る。純流入1~3位は、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、米国小型ブレンド株、米国中長期コア債。

日本の公募投信(除くETF)で米国株人気が続くが、米国籍投信も、米国株(ブレンド株~S&P500連動など)への純流入が最大だった。米国籍の米国株(ブレンド株~S&P500連動など)は+76億ドルと米投信全体(+206億ドル)の約4割(36.8%)を占める純流入となり、直近4週合計(+365億ドル)でも全123分類中トップの純流入となっている。

米投信の分類別週間純流出(純流入の大きい順) 2024-12-04現在
 *ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

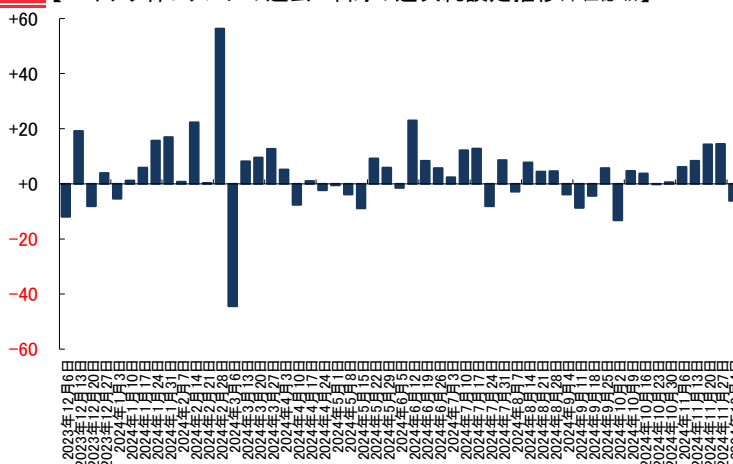
順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	Large Blend	+7,598	+3,520	+36,540	4,888,109	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
2	Small Blend	+2,947	+2,366	+10,290	518,219	米国小型ブレンド株
3	Intermediate Core Bond	+2,334	+1,355	+7,989	736,853	米国中長期コア債
4	Digital Assets	+2,134	+1,979	+10,151	134,681	デジタル資産(ビットコイン等)
5	Foreign Large Blend	+2,012	+397	+5,254	1,018,930	外国大型ブレンド株
6	Corporate Bond	+1,301	+1,652	+4,269	171,646	社債
7	Intermediate Government	+1,220	+1,557	+3,509	225,152	米国中長期国債(4-6年)
8	Intermediate Core+Plus Bond	+1,061	+287	+1,829	620,889	米国中長期コアプラス債
9	Muni National Interm	+939	+846	+2,701	244,102	米国全米地方債
10	Short-Term Inflation-Protected Bond	+896	+655	+1,843	43,147	米国短期インフレ連動債
81	India Equity	-2	-187	-374	20,296	インド株
114	Japan Stock	-407	-50	-663	35,271	日本株
115	Global Large-Stock Blend	-443	-56	+2,202	292,056	グローバル大型ブレンド株
116	Inflation-Protected Bond	-522	-834	-1,585	67,255	米国インフレ連動債
117	Health	-595	-840	-2,056	131,664	ヘルスケア株
118	Technology	-612	+1,445	+3,098	392,369	米国テクノロジー株
119	Foreign Large Growth	-619	-216	-1,565	384,153	外国株大型グロース株
120	Energy Limited Partnership	-713	+157	+528	33,868	エネルギー株(MLP)
121	Europe Stock	-1,416	-943	-2,949	67,806	欧州株
122	Long Government	-2,122	-1,002	-5,743	139,848	米国長期国債(6年超)
123	Large Growth	-2,258	-839	+9,172	2,342,363	米国大型グロース株
	全123分類の合計	+20,630	+22,131	+123,505	21,447,505	
指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)			
TOPIX (東証株価指数)	+2.86	-1.22	+0.95			
S&P500	+1.49	+1.41	+2.80			
MSCI ワールド	+1.71	+1.46	+2.76			

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)

ハイテク株(米国テクノロジー株)は12月4日週に-6億ドル/約920億円と、6週ぶり純流出で、10月2日週(-13億ドル)以来約2か月ぶりの大きな純流出となった(←11月27日+14.5億ドル←11月20日週+14.3億ドル←11月13日週+8億ドル←11月6日週+6億ドル←10月30日週+0.5億ドル←10月23日週-0.2億ドル)。うち、ハイテク株投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-0.4億ドルと21週連続の純流出。ハイテク株ETFは-5.7億ドルと9週ぶり純流出。

【ハイテク株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億ドル)】

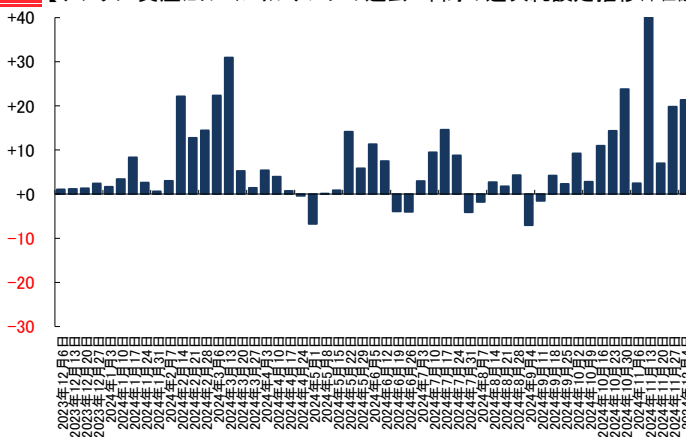


(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

4位のデジタル資産(ビットコイン等)は最新12月4日週に+21億ドル/約3201億円と12週連続の純流入(11月13日週に+53億ドルと週次データのある2009年6月1日以降で最も大きな純流入)。デジタル資産(ビットコイン等)は、大半がETFであり、「iShares Bitcoin Trust ETF (IBIT)」などビットコインETFが大きい。ビットコイン現物ETFは12月4日週に+15億ドルと約7割を占めた (2024年

11月11日付投信調査コラムNo.413「ビットコインETFの道～トランプ氏は米国の世界のビットコイン 超大国になると言い、日本の国民民主党・玉木氏は暗号資産ETF導入を公約し、日本の金融庁は暗号資産規制見直しに着手～」 <https://www.umfj.co.jp/report/investinfo/column/241111.html>)

【デジタル資産(ビットコイン等)ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億ドル)】



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

トランプ次期米大統領(共和党)が2024年12月4日、証券取引委員会/SECの次期委員長に元SEC委員ポール・アトキンス/Paul Atkins氏(共和党)を指名すると発表した (2024年11月25日付投信調査コラムNo.414「SEC委員長退任で投信改革・私募ファンド・暗号規制は? トリプルレッドを歓迎するバンクローンやブ

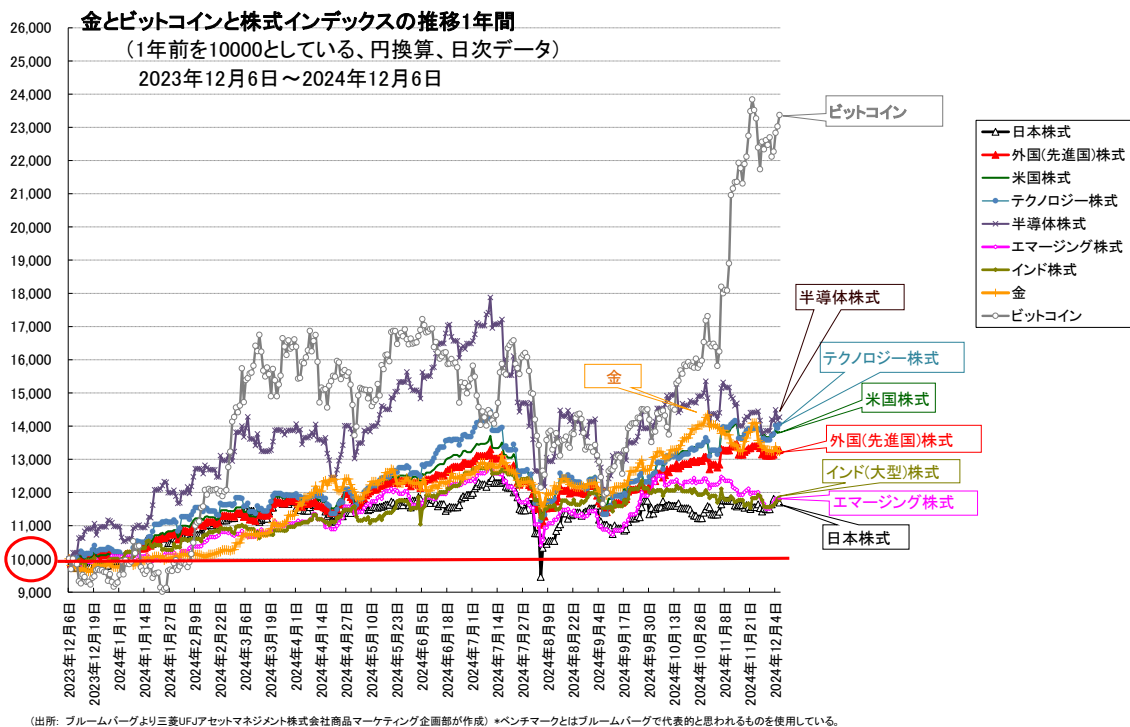
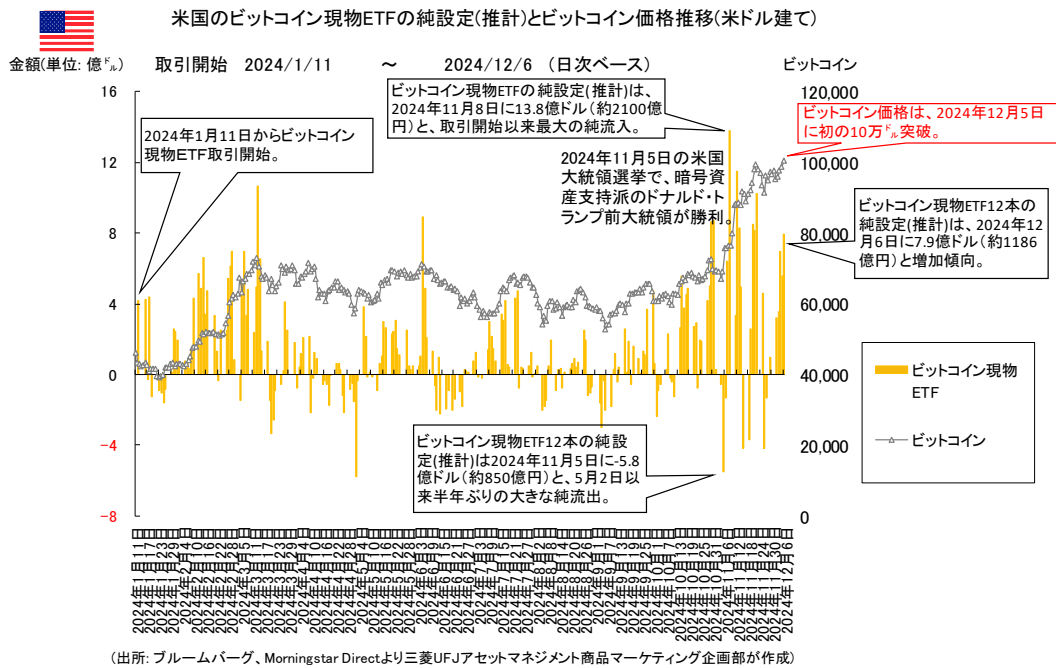
ライバートアセット、歓迎しないESG、警戒するインデックスファンドとETF!」 <https://www.umfj.co.jp/report/investinfo/column/241125.pdf>)。2025年1月20日に退任するゲーリー・ゲンスラー/Gary Gensler委員長(民主党)が暗号資産規制強化をしてきた一方、アトキンス氏はジョージ・W・ブッシュ政権下で共和党のSEC委員を務め、暗号資産推進派である。アトキンス氏がSEC委員長に就任すれば規制の見直し・緩和を行う事必至である。さらに12月4日、米連邦準備制度理事会/FRBのジェローム・パウエル/Jerome Powell議長が「**ビットコインは金のようなものだ。仮想的でデジタルなだけだ/It's like gold, only it's virtual, it's digital. ビットコインは米ドルのライバルではなく、実際には金のライバルだ/It's not a competitor for the dollar, it's really a competitor for gold.**」と発言した事もビットコイン好材料となった (2024年12月5日付CNBC「What Fed's Powell said about crypto that may have aided bitcoin rally to \$100,000」 <https://www.cnbc.com/2024/12/05/what-fed-chief-powell-said-about-crypto-that-may-have-aided-bitcoin-rally-to-100k.html>)

<https://www.umfj.co.jp/report/investinfo/column/241125.pdf>、FRBのパウエル議長は2017年11月2日にトランプ大統領(当時)により指名され～2022年に民主党のバイデン大統領が再任指名～、ジョージ・W・ブッシュ元大統領の父親であるジョージ・H・W・ブッシュの政権で財務次官補、財務次官だった共和党員である。

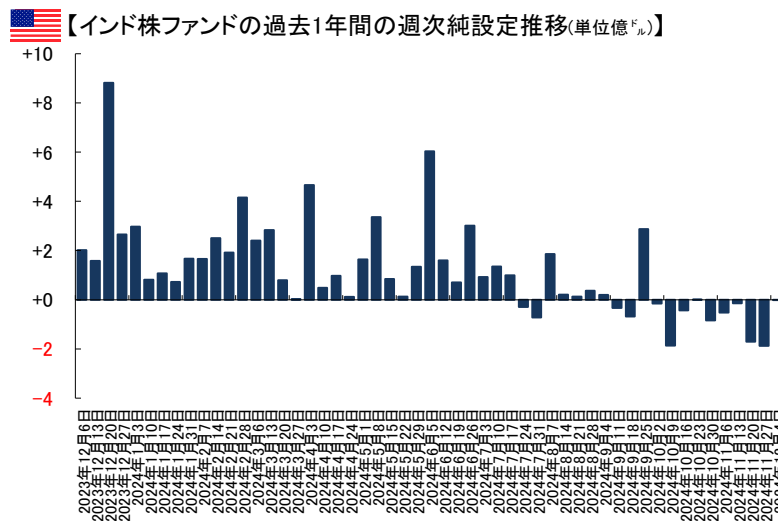
NYダウが12月4日に45,014.04 米ドルと最高値を更新、S&P500も12月6日に6,090.27と最高値を更新する中、**ビットコインは12月5日に初の10万ドルを突破。**

2024年1月10日にSECが暗号資産ビットコインの現物を裏付け資産とする上場投資信託(ETF)を承認、米国の証券取引所で、11銘柄の取引が開始された。開始以降の米国のビットコイン現物ETF/spot bitcoin ETFsへの純設定(推計)は+334億ドル/約5兆円、そのうちトランプ氏が大統領選に勝利以降(2024年11月6日～)は+96億ドル/約1.4兆円だ。日次で見ると、トランプ氏が大統領選に勝利した事を受けて2024年11月8日に+13.8億ドル/約2100億円と取引開始以降で最大の純流入を記録し、**2024年12月6日は+7.9億ドル/約1186億円と6日連続純流入**となっている。運用資産は2024年12月6日に1124億ドル/約17兆円(2024年11月11日付投信調査コラムNo.413「ビットコインETFの道～トランプ氏は米国を世界のビットコイン超大国にすると言ひ、日本の国民民主党・玉木氏は暗号資産ETF導入を公約にし、日本の金融庁は暗号資産規制見直しに着手～」<https://www.am.uvf.co.jp/report/investice/>)

は暗号資産ETF導入を公約にし、日本の金融庁は暗号資産規制見直しに着手～」<https://www.am.uvf.co.jp/report/investice/>)



最後に、インド株は日本籍投信では3週ぶり純流入、世界でもインド株投資は12月第1週は純流入と先述したが、米国籍投信はどうか。 **インド株は最新12月4日週に-160万ドル/約2億円と、直近6週で最も小さな純流出**。うち、インド株投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは+57万ドルと2週連続の純流入となり、インド株ETFは-216万ドルと直近6週で最も小さい純流出となった。



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会